

日本臨床腫瘍薬学会 研究助成事業
2019年度 JASPO がん研究助成 募集概要

2019年5月1日作成

日本臨床腫瘍薬学会（以下、JASPO という）では、よりよいがん医療の実現のため、薬剤師による臨床研究（アンケート調査や業務改善などを含む）を推進しております。

JASPO では高度なエビデンスの構築を支援すると共に、多くの会員ががん医療に関する臨床研究を進め情報を蓄積していくことが重要だと考えております。

そこで、これから臨床研究を積極的に実施していただける研究者を対象とし、研究助成事業を継続的に行っています。

応募資格

- ・代表研究者が JASPO の正会員であること。
- ・所属長もしくは上司からの推薦を得られること。（自身が所属施設の責任者の場合は、研究指導者の推薦で問題ない）
- ・よりよいがん医療の実現に対して熱い思いで取り組んでいること
- ・職種は問わないが、研究実施者に実地医療に携わる薬剤師（病院薬剤師もしくは、保険薬局薬剤師）を1名以上含むこととする。
- ・これまでに財団法人や各省庁、市町村等が実施する研究助成を受けたことがない申請者を優先する。（対象は研究代表者のみ、研究課題の内容は問わない）

募集テーマ

近年、支持療法の発達や内服抗がん剤の進歩などにより外来にて抗がん剤治療が行われている。しかしながら、病院と地域医療との連携や、保険薬局を含めた地域医療機関の受け入れ体制は十分とはいえない。

そこで、本事業ではよりよい地域医療の実現や、保険薬局、もしくは病院薬剤部でのがん患者のケア向上に関する研究など、実地医療に直結した研究課題を募集するものである。

なお、2018年3月に制定した「禁煙宣言」に基づき、地域社会での禁煙を推進する取り組みについても募集テーマとして含みます。

例) 抗がん剤の地域連携に関する研究

保険薬局薬剤師が行うがん治療に関わる業務改善に関する研究

病院薬剤師が行う副作用管理に関する研究

病院または保険薬局薬剤師と大学教員が共同して行う実地医療に直結した研究

非喫煙者の受動喫煙を防止する対策や教育に関する研究
がん治療を受ける患者の禁煙指導や受動喫煙に関する研究 など

助成内容

助成件数：1～2 件

助成金額：1 件につき 20 万円以内

ただし対象となる経費は研究に直接必要となる次の経費の一部または全部とします。

- (1)設備備品費
- (2)消耗品費
- (3)借料、損料
- (4)資料費
- (5)印刷費
- (6)旅費
- (7)研究協力謝金
- (8)通信・運搬費
- (9)その他研究に直接必要と認める経費

助成金執行について 研究が採択された場合、研究期間中の助成金は一括して給付されます。研究者は、別途定めた助成金の執行手引きに従って執行をしていただきます

助成期間：2020 年 1 月から 2021 年 12 月迄の 2 年間とする

募集期間：2019 年 7 月 1 日～9 月 30 日（必着）

応募方法：「2019 年度 JASPO がん研究助成申請書」に必要事項を入力、押印し、2019 年 9 月 30 日までに申請書の印刷物(1 部)とファイルを事務局まで送付する（必着）。

申請書のファイルは USB メモリー、CDR 等の記録媒体に「2019 年助成（申請者氏名）」の名称で保存する。なお、送付された記録媒体は原則返却しない。

HP 上の申請書記入見本を参考に書類を作成してください。

送付先

〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10

築地 MF ビル 26 号館 5 階（株）朝日エル内

日本臨床腫瘍薬学会 事務局 宛

「2019 年度 JASPO がん研究助成申請書 在中」と朱書きして下さい。

審査基準：

実地医療に対する研究の有用性、将来性、実現の可能性、応募者の熱意等を勘案し、臨床研究委員会にて検討後、理事会にて選考する。なお、今年度は、最大 2 件の採択のうち、1 件は地域医療連携のあり方に関する研究を優先的に採択する。

審査結果：理事会にて選考し、2019 年 11 月下旬に申請者へ通知

実績報告：2022 年 2 月までに研究成果報告を行っていただきます。

また、研究成果は JASPO 学術大会にて報告することを推奨します。

助成課題の公表：本事業により、研究助成を受けた課題については、当学会 HP にて
課題名、助成金額、代表研究者および所属施設を公表するものとする。

本件に関する問い合わせは
日本臨床腫瘍薬学会 事務局
E-mail : jaspo@ellesnet.co.jp
までメールでお願いいたします。